

# My Hobby My Sports!!

趣味を通じた生きがいつくり

—姫路市役所バドミントン部は、昭和35年に数名の部員で発足し55年以上の歴史があるクラブとのことですが、現在は何名いらっしゃるのですか。

20代から60代までの28名で、男性25名、女性3名で構成されています。

—木下さんが市役所バドミントン部に入られたのは、いつですか。

平成5年です。

—入部のきっかけは何だったのですか。

前年の平成4年は週休2日制が導入された年で、姫路市でもそれまで半ドンだった土曜日が終日休みとなりました。私はせっかくできた休日を有効に活用しようと、何かスポーツを始めることにしました。それで、遊び程度で経験があったバドミントンを基礎からきちんと学ぼうと思い、市が主催するバドミントン教室に参加しました。

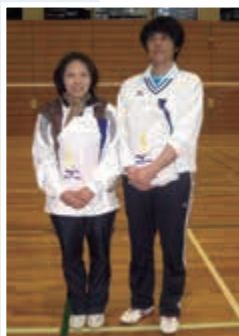
毎週土曜日の開催で、半年間基本のフォームから教えてもらったのですが、さらに上達したいと思い、翌年、市役所バドミントン部に入部しました。

—市役所バドミントン部に入られて何が変わりましたか。

体を動かすことで日頃のストレスが発散できたことに加え、練習に参加することにより、仕事では関わることのなかったいろんな職員と幅広く知り合いになれたことも大きかったです。

—現在、どのくらいのペースで練習されているのですか。

市役所バドミントン部の練習は、場所の確保が難しいため、いま



2014年開催の姫路市職員バドミントン大会で優勝

## 入庁後に始めたバドミントンで仲間づくり、健康づくり

### 木下 達也

姫路市水道局施設課係長

【きのした・たつや】昭和32年、兵庫県高砂市生まれ。昭和56年姫路市入庁。都市局、下水道局等を経て現職。バドミントンのほかに登山もたしなむ。



は月1回程度の参加となっています。ですが、バドミントン教室で知り合った同年代の人に誘われて、地域のバドミントンサークルにも入っているため、週3回程度練習しています。

—木下さんがバドミントンを20年以上継続できている要因は何だとお考えですか。

バドミントンを通じて出会った仲間たちと、お互いに切磋琢磨できたことだと思います。結果を求めて試合に出場し、入賞した時は嬉しくて、さらに上を目指していくことに楽しみを覚えました。

—バドミントンを続けられていて、一番よかったことは何ですか。

これまで大病もせず、健康を維持できていることです。私は登山も好きなのですが、バドミントンのほうが手軽にできる分、日常的に体を動かす習慣につながりました。庁内外を問わず、多くの方々と知り合うことができ、バドミントンを続けてきて本当によかったと思います。

—バドミントンとは今後どのように関わっていきたいですか

最近では、60代でも試合に出場されている方が多数いらっしゃいます。私はいま58歳ですが、最低あと10年は続けるつもりでいます！

—ぜひ頑張ってください。

姫路市職員バドミントン大会での集合写真

